

中学年

- 主題名 みんなが気持ちよくくらすためのきまり（C 規則の尊重）
- 教材名 「雨のバス停留^{ていりゅうじよ}所で」（『わたしたちの道徳』3・4年）
- ねらい みんなが気持ちよく暮らすためには、約束や社会のきまりが必要であるという意義を理解し、それを守って行動しようとする態度を養う。
- 学習指導過程

	学習活動（主な発問と予想される児童の反応）	具体的な指導・援助
導入 5分	<p>1. 身の回りのきまりについて学習することを意識づける。</p> <p>○身の回りには、どのような約束やきまりがあるだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号を守る。 ・廊下を歩くときは、右側を歩く。 ・夕方5時には家に帰る。 	<p>◇ねらいとする価値への方向付けを行います。</p> <p>※展開の時間を確保するため、短い時間で行います。</p>
展開 35分	<p>2. 教材を読む。</p> <p>◇児童が物語の場面を具体的にイメージできるよう、大粒の雨がどンドン降りかかっている様子や、バスを待つ人たちが並んでいる様子がわかるような大きな絵や画像を提示しながら読むと効果的です。</p> <p>3. かけ出して、停留所の一番先頭に並んだ時のよし子の思いについて意見交流をする。</p> <p>○バスが見えたとき、よし子さんがかけ出してバス停の先頭に並んだのはどのような思いからだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早くバスに乗らないと雨にぬれてしまう。 ・早く行って、お母さんと一緒に座りたい。 ・早くおばさんの家に行きたい。 ・子どもだから許されるだろう。 	<p>・教師が範読する。</p> <p>◇よし子の残念なところに注目し、その時の「心」を問います。</p> <p>・提示された絵などを手掛かりに、よし子の思いを考えさせる。</p>

	<p>※児童の反応、学級の様子等、場合によっては、以下のような補助的な発問をすることも考えられます。</p> <p>○前から6番目に並んでいるよし子さんは、どのようなことを考えただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せっかく一番先頭に並べたのに。 ・もっと早く乗ってくれないかな。 ・みんな停留所には並んでいなかったから、早い者勝ちでいいじゃない。損した気分。 ・お母さんはどうして引き戻したのかな。 <p>4. 自分がしたことを考え始めたよし子の思いについて考え、意見交流する。</p> <p>◎知らぬふりをして窓の外を見ているお母さんの横顔を見ながら、よし子さんはどのようなことを思っただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私が追い抜かしたから、お母さん怒ってるんだな。 ・順番を守るべきだったな。 ・待っていた人たちに悪いことしたな。 ・みんな雨に濡れないようにちゃんと並んでいたのに、自分勝手だったな。 <p>5. 自分の生活を振り返る。</p> <p>○みんなのことを考えて、約束やきまりを守っていることがあるかな。また守れていないことはあるかな。それはどのようなことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランコに乗る順番を守った。みんないやな思いにならないように。 ・休み時間に、ボールを借りるとき、ルールをちゃんと守れていない時があった。 	<p>◇補助的な発問は、授業にあたって、児童の反応が多様に出ないとき、ねらいとする道徳的価値に迫ることが難しいと考えられるとき等、事前に児童に問いかける具体を考えておくことが、授業の幅の広がりにつながります。</p> <p>・自分の考えたことをノートに記述させる。</p> <p>◇考える時間をしっかりとることが大切です。</p> <p>◇どのようなことを書いたかを机間巡視して確認するとともに、意図的に指名します。</p> <p>◇初めに意見を言った子に対して、「○○さんの意見とは少し違って…」などと自分の意見が言えるよう、日ごろから話型（発表の仕方）の指導を行っておくことも大切です。</p> <p>・自分の生活を振り返って、ノートに記述させる。その時の気持ちや考えも見つめさせる。</p> <p>◇自分の過去を振り返る時間を十分にとるようにすることが大切です。</p> <p>◇自分の生活を振り返るとき、「友だちの発表をきいて、参考になったこと」等を振り返らせ、他者と議論する中で道徳的価値の理解を更に深められているかについて見取ることも考えられます。</p>
<p>終末5分</p>	<p>6. 教師の話聞く。</p>	<p>◇終末ではねらいに沿った話をします。教室の中で見かけた児童の素敵な姿を伝えたり、「わたしたちの道徳」に掲載されている話を読んだりすることで、今後の発展につなげます。</p>

<板書計画>

◇絵を大きく貼るなどして、場面をイメージしやすくします。

第〇〇回 道徳
雨のバスでいりゆう所で

雨の中、バスを待つ
人たちの（絵）

- ・早くバスに乗らないとぬれてしまう
- ・お母さんとすわりたい

前から六番目にならんでいる
よし子さんは、どのようなことを
考えただろう。

- ・せっかく一番先頭にならべたのに
- ・もっと早く乗ってくれないかな
- ・そんな

黙ったままのお母さんの
横顔を見ているよし子
（絵）

- ・お母さんおこっているな
- ・順番を守るべきだった
- ・待っている人たちに悪いことをした
- ・自分勝手だった

◇「〇〇さんの意見と同じで（違って）…」と語らせると、出された意見ごとにある程度分類して書くことができます。